

## 玉サイズ、歩留り、詰め方にもこだわった高品質のキャベツを安定出荷 ～豊橋農業協同組合（愛知県）～



### 1 組織の概要

組織名称	豊橋農業協同組合
組織形態	農業団体
代表者名	代表理事組合長 伊藤友之
所在地	愛知県豊橋市野依町字西川5
連絡先	営農部指導推進課 課長 松井教浩
販売額	加工・業務用キャベツ 564,000千円（令和5年）
取組者数	てつコン倶楽部 20人（令和5年） 加工・業務用キャベツ生産者

### 2 取組の推移

昭和41年	「豊橋」（冬キャベツ）が野菜指定産地に指定。
平成15年	県内他3JAとキャベツ本部を設立
平成21年	てつコン倶楽部発足 鉄コンテナでの出荷を開始 当初は生産者5人、出荷量180t
平成27～28年	加工・業務用野菜生産基盤強化事業（国）の活用

### 3 加工・業務用野菜の取組概要

#### (1)基礎情報

取扱品目	キャベツ
作付面積	110ha
出荷量	12,000t
出荷時期	10月～7月
品 種	時期に合わせて10品種
主な出荷先 (主な用途)	愛知県経済連 (食品製造業者、野菜カット業者)
出荷形態等	鉄コンテナ
取引先からのニーズ	高い歩留り

## (2) 取り組んだきっかけ

J A 豊橋管内では、従来から加工・業務用キャベツの販売アイテムを扱っていたが、市場販売が順調に推移していたことから、加工・業務用の取り扱いが増えることはなかった。その後、加工・業務用の需要の高まりにより、愛知県経済連より加工・業務用野菜の取り組みへの働きかけがあり、平成21年度よりてつコン倶楽部を発足し、鉄コンでの出荷を開始した。



## (3) 取組の特徴

玉サイズ、歩留り、詰め方等の品質にこだわり、シーズンを通して高品質なキャベツを安定出荷している。契約数量を確保するため、生産者間での栽培技術の情報交換やほ場巡回、加工・業務用に適した品種の試験栽培を常に行い、各ほ場に即した品種の選定に取り組んでいる。また、定植機、乗用管理機、ブームスプレーヤー等を導入し、機械化を推進している。

## (4) 関係機関の支援

加工・業務用野菜生産基盤強化事業（国）

### 4 販売先の開拓

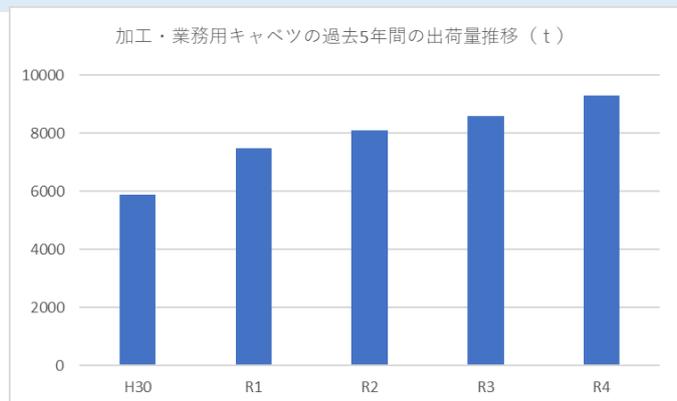
愛知県経済連を通じ、実需者を確保。

### 5 課題とその対応

計画販売数量を確保し、品質を高品質かつ均一にするため、栽培技術の情報交換やほ場巡回を行っている。また、加工・業務用に適した歩留が高く葉の青さが良い品種を導入するため、品種試験・選定に取り組んでいる。

### 6 取組成果

品質の向上・安定の評価を得ることにより、てつコン倶楽部を指定する顧客のシェアが拡大した。（R4年度で対前年比107%）



### 7 今後の展開

①10月～11月中旬の品質安定、および顧客動向に則した作付拡大

②4月の花芽対策実施による出荷期間の延長、出荷数量の安定による端境期対応数量拡大

③生産者所得の確保・向上が最優先の中でも、顧客ファースト対応継続で産地指定顧客を増加

